

# 令和3年度 日置市教育委員会定例会(11月)

○日 時：令和3年11月19日(金) 午後3時00分～午後3時45分

○場 所：日置市中央公民館 大会議室(3階)

○出席者：奥教育長

委 員：内村委員・中島委員・胸元委員・鶴木委員

事務局：梅北(事務局長兼教育総務課長)・渦尾(学校教育課長)

横枕(社会教育課長)・恒吉(東市来支所教育振興課長)

坂上(日吉支所教育振興課長)・松岡(吹上支所教育振興課長)

東(教育総務課長補佐)

## 1 開会

奥教育長：ただ今から日置市教育委員会11月の定例会を始めたいと思います。

## 2 前回議事録の承認

奥教育長：まず前回議事録の承認でございます。10月の議事録へのご意見、修正等はございませんでしたか。

奥教育長：よろしいですか。

(特になし)

それでは承認といたします。

### 【前回の議事録承認】

議事録承認の署名・押印は胸元委員と鶴木委員にお願いいたします。よろしく申し上げます。

## 3 委員及び教育長の報告

奥教育長：次に委員及び教育長の報告に移りたいと思います。では中島委員からお願いしてよろしいですか。

中島委員：それでは10月定例会以降の活動について、報告させていただきます。

11月16日、日置市小学校陸上記録会に出席させていただきました

た。伊集院総合運動公園の運動競技場で行われていますが、毎回グラウンドがすごく整備されて、あの競技場の中で疾走する子どもたち、競技に臨む子どもたちは、大きな感動を持つのだろうなと思いました。今回はコロナ感染防止対策もとられ、競技種目も4種目、6年生だけの参加ということでしたが、このコロナ禍が2年ほど経過する中、また、いろいろな行事等が中止になっている中で開催されたことは、すごく良かったなと思いました。また、大会関係の方々、設備及び準備に携われた方々へ、お礼を申し上げたいと思うところでした。どの種目を見ましても、子どもたちが生き生きと競技の1つ1つに真剣に臨んでいるなと思いました。また、保護者の観戦も沿道ではありましたが、見受けたところです。なんとかこのコロナ感染が終息して、少しでもこのような行事に参加する選手、それから保護者も含めて増えればいいなと思いました。

なお、10月31日の湯田小学校運動会、11月9日の伊集院北小で行われた研究公開は、仕事のため、欠席させていただきました。以上です。

奥教育長：はい。ありがとうございます。それでは鶴木委員お願いいたします。

鶴木委員：はい。報告させていただきます。今年も自分自身が恒例としております、徒歩による「妙円寺詣り」を23日の土曜日に行いました。今年も午前7時に中央駅を出発しましたが、例年に比べてこの時間帯にしては歩いている人が多いと感じました。

それから10月30日は、吹上歴史民俗資料館の企画展「島津の英主貴久と日置の城館～三州統一への道のり～」と題した島津貴久没後450年事業が開催されていたので見に行きました。島津家の興りは、1185年に源頼朝の命を受けた島津奥州家の忠久が地頭職に任じられたことに始まります。その後、地頭職に君臨していた奥州家から相州家、薩州家が分家し、各地でその地方の有力者との勢力争いを繰り返していたようです。島津奥州家11代当主忠昌の死後、奥州家が斜陽になった折に、婚姻や養子縁組等で相州家と薩州家の両家を継承した忠良（日新公）が勢力を拡大して、実質的に薩摩の領主となり「島津中興の祖」と称されています。貴久は日新公の嫡男として生を受け、薩摩、大隅、日向の三州統

一に乗り出し、「島津の英主」と称されました。貴久の子どもたち義久、義弘、歳久、家久の4人は九州統一に乗り出したものの、豊後のキリシタン大名大友宗麟から援軍を求められた豊臣秀吉の島津征伐の軍勢20万に押し返され降伏し、薩摩川内市にある泰平寺で義久が剃髪して臨み、秀吉と和睦を結んだことはご承知のとおりです。しかし、この中でも三男歳久だけは徹底抗戦を呼びかけ、秀吉暗殺を企てたり、秀吉の命に従わず勝手な行動をしたりしたため、島津に対して寛大な処置を取ろうとしていた秀吉の逆鱗に触れて切腹を命じられています。

歴民館では特別な展示等はなく常設展示ではありましたが、薩摩、大隅、日向の三州統一に向けての基礎を固めた日新公と三州統一を成し遂げたその子貴久、及び九州統一を目前とした4人の子ども義久、義弘、歳久、家久たちの生い立ちと足跡及び業績などを学ぶことができました。

11月3日は伊集院地域の文化祭を見学に行きました。舞台発表は午後からとなっていたことを知らずに午前中に訪問したため、展示のみの鑑賞となりました。書道、水墨画、生け花、さつま狂句の展示がありましたが、コロナの影響で今年も例年に比べて展示が少なく寂しさを感じたところです。

11月4日は臨時の教育委員会に出席しました。

11月9日は、令和2年度、3年度に「特別活動」で地区研究指定校となった伊集院北小学校の研究公開に参加しました。研究テーマは「互いのよさを認め 高め合う よりよい集団の育成」で、サブテーマが「特別活動を通じた全校的な仲間づくり」となっていました。初めに奥教育長が開会のあいさつをされ、続いて研究発表が行われました。

研究の1年目は、友人とのトラブルや望ましい人間関係及び集団形成に課題があるという児童の実態を基に、互いに認め合い、高め合ってよい集団作りができるようになってほしいという教師集団の願いを反映させるために、学級活動の充実を目指した取り組みが行われました。

2年目は、前年度からの活動を継続しながら、学級活動を中心とした仲間づくりを目標として、学級活動の授業づくり、実践記録作成、評価の工夫を重点にさらに取り組みを進めながら、3年

目の本年度は、全校的な仲間づくりを主眼にして、児童会活動の充実と伝え合うスキルの向上を目標に取り組んでいました。

評価の工夫では、評価規準の設定とそれを基にした評価補助簿（教師による見取りシート）を作成してポートフォリオ式の評価を行うとともに、学級活動シートで自己評価を行わせ、振り返らせているところが成果に結びつく基礎になったのではないかと思います。

その後、二つの学年の授業を参観させていただきました。3年生の授業では、授業開始前に妙円寺詣りの歌を歌って雰囲気盛り上げていたこと、担任の日頃の指導が子どもたちを支えており、構成的グループエンカウンターが確実に育成されていることを実感できたこと、子どもから出されたいくつかの種目の中から実施すべき種目を決定した後、採用されなかった種目についても「次にやろう」とフォローしているところが見られたことで、採択されなかった種目について提案した児童が救われているなど感じられました。

また、5年生の授業では「6年生に向けて」と題して、学校生活をリードする高学年として意欲や態度の形成を図ることを目標に取り組みが進められました。事前のアンケート調査からは、高学年としての望ましい姿となる「みんなの手本となるよう行動している」と回答した児童は一人しかおらず、あいさつスタンプラリーなどの活動を通して、自分のことだけに集中して視野が狭かったことや学校全体のことを考えて行動している最上級生の存在に気づき、「自分に任された仕事を効率よくやって余った時間を他のことに活用したい」とか「自分の苦手なことを頑張る」など、最上級生になる心構えとして積極的な意見が出されていました。

今回の研究公開に参加して、伊集院北小学校においては特別活動の土台である「集団による活動」を通して、学級から学年、学年から全校へと活動の広がりが見られ、例えば総務委員会の「あいさつスタンプラリー」のような活動などによって達成すべき目標の「豊かな学校生活を築く」、「公共の精神を養う」、「社会性の育成を図る」という三つをクリアしつつ「なすことによって学ぶ」という基本的姿勢が児童に育まれていること、さらに「構成的グループエンカウンター」の芽が育まれつつあることを成果として

感じる事ができました。

二つの授業を参観して、道徳の授業のねらいと重なる「自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤づくり」が包含されていると感じました。

11月16日は、中島委員からもありましたが、第16回日置市小学校陸上記録会を参観しました。コロナの感染拡大防止の観点から種目、学年の参加が限定されており、トラックレースの華となる「リレー競技」がなかったのが寂しく感じられました。

歴代の大会記録を見た時、6年生女子の60mハードル走の記録10秒1が昭和63年に記録され33年間更新されていないのは驚きでしたが、同じ種目の男子の記録が平成16年に樹立された9秒7に比べても見劣りしない記録であることから、男子に負けないようなこの記録は、まだここしばらくは破られないのではないかと思います。

選手は皆記録を目指して全力を尽くしていました。同様に100m Bの選手の中にもAの選手に負けにくいぐらいのスピードで走っている児童も目に付きました。来年度は全ての種目が実施され、5年生の参加とともに保護者などの応援もスタンドでできるようになればと願ったところです。

なお11月1日から7日までの「学校を見に行こう週間」につきましては、鹿屋体育大学開学40周年記念事業の一環として、11月6日に開催する薩摩に伝わる伝統的遊びである「破魔投げシンボジウム」の準備・打ち合わせ等のために時間的な余裕がなく訪問することはできませんでした。以上でございます。

奥教育長：はい。それでは胸元委員お願いいたします。

胸元委員：報告させていただきます。

11月2日火曜日、吹上中学校第44回文化祭を参観いたしました。今年は昨年と同様、新型コロナウイルス感染症対策のため、吹上浜公園体育館にて舞台発表が行われました。合唱は映像発表となりましたが、調べ学習発表や劇に加え、3人で行う英語朗読や市児童生徒作文コンクールで特選となった各学年の作文発表、生徒会活動発表などがありました。その中でも、生徒会活動は今年度からSDGsを意識した取り組みをしており、17の項目に合わせて今まで行ってきた活動を整理し、課題を見つけ、関連付け、目標を

立て、各委員会に振り分けて取り組んでいました。今まで見てきた文化祭とは一味違った発表で、生徒の活動や体験、考えを知ることのできた良い文化祭でした。

同日、永吉小学校の教育講演会に出席いたしました。講師はスクールカウンセラーの金子信一先生でした。金子先生は、1枚の絵をスクリーンに映し、何が見えるか子どもたちに問いかけました。見る人によって見えているものが変わる絵をもって「人間は脳の構造上、1つの方向からしか見ることはできない。自分にはこのように見えていても、他の人が同じように見えているとは限らないから、視点を変えないといけない。」と子どもたちに伝えていました。45分間、話を聞くだけでない参加型の講演会は、児童が飽きることなく集中することができ、またとても分かりやすく、枠にとらわれない考え方の大切さを教えてくださいました。

11月9日、伊集院北小学校研究公開、11月16日、日置市小学校陸上記録会については、中島委員、鶴木委員が詳しく述べられましたので、割愛させていただきます。以上です。

奥教育長：はい、ありがとうございました。では内村委員お願いいたします。

内村委員：妙円寺詣りは、鶴木委員が10月23日の前日に行かれたということで、私は10月24日にすばらしい青空のもと、鹿児島三大行事で伝統を引き継ぐ第71回妙円寺詣りに参加しました。武者行列では美山少年隊は名前の如く小学生のみで編成し、今回はコロナ感染予防のため、5・6年生男子9人が鎧を纏って元気に歌を歌いながら参拝していました。伊集院妙円寺詣り武者行列保存会は、たくさんの大人が立派な鎧を纏い、後から幼児、小中学生が赤い羽織を纏って大人の後を整然と元気よく歩いている姿を見て、私も武者行列の皆さんから元気をもらいました。

また11月2日は、教育県民週間で日吉学園を訪問しました。大きな行事の運動会が終わり、子どもたちが授業に集中している様子を見ることができました。1階の低学年の元気いっぱいの様子から、2階に上がると、前期高学年、後期課程と進むにつれて授業に集中してピンと張りつめた緊張感が感じられました。前期課程は「日吉っ子フェスタ」交流活動でスライムづくり、空き缶積み競争などで楽しく全学年で交流を深めていました。後期課程は文化祭を体育館で開催しました。吹奏楽部7人が体育館に響き渡

る演奏で、会場を大いに盛り上げました。各学年の劇や合唱は、各学年1クラス全員が真剣に演技して、観衆は感動の時を過ごしました。9年生は、文化祭を最後に生徒会役員を引退して、来春の受験に向けてスイッチが切り替わることだったと思いました。

同じく11月2日は、総合計画審議会に出席しました。議題は日置市過疎地域持続的発展計画について、提言・審議を行いました。現在、過疎地域は東市来・吹上・日吉地域です。特に「移住・定住」、「観光・レクリエーション」、「産業の振興」等各種政策を取り入れながら、非過疎化を目指していくということでした。

また、11月9日の伊集院北小学校研究公開及び11月16日の日置市小学校陸上記録会には中島委員、鶴木委員、胸元委員が詳しく述べられましたので、私からは割愛いたします。以上です。

奥教育長：はい。ありがとうございます。それぞれ委員の方々からご報告をいただきました。大部分が私も重なっておりますが、陸上記録会では、昨年まで記録が不明だったものを、内村委員に年度を調べていただきまして。満尾さんの記録がずっと不明でありました。内村委員にご尽力をいただきまして、満尾利親さんの娘さんだったということで、家にあった賞状まで確認をしていただきまして、昭和63年度だったということが判明いたしました。ありがとうございます。

それぞれ、妙円寺詣り等は例年どおり関係の皆様方にご協力をいただきまして、縮小の中にも良い妙円寺詣り行事大会ができたのではないかと考えております。

それから文化祭が、東市来地域と伊集院地域で同じ日に行われましたが、それぞれ少しずつ参加団体を工夫しながらできたことは良かったかと思えます。同じく妙円寺地区公民館が文化祭を行いました。各地区館での文化祭は、なかなか実施できない地区が多いですが、そこへ行きましたら、ちょうどその裏に「みんなの畑」という畑があります。その畑を見ていたら、その畑を指導してくださっている方がいろいろ話をしてくださいましたが、後日、「伝統野菜 公民館で栽培」という見出しで新聞に大きく掲載されました。前田芳實さんという方で前の鹿児島大学の学長までされた方でした。すごい方と出会ったと思っておりましたら、この間の新聞に叙勲を受章されたということで、順番が全部逆でした

ら、いろいろな話ができただけですが、普通のおじさんと出会って、それから新聞に載って「ああこういう方だったんだ。」と思って、最後が叙勲でしたので、話の辻褄がなかなか難しかったので、またお会いしたらお祝いを申し上げたいと思っております。

それから本日、日吉のALTが着任をされました。ニュージーランドからおいでになっていただいたスーキーさんという方で、女性の方です。今回、東市来と日吉にそれぞれ新しいALTの方が二人着任されたということで、さらにいろいろな活動に厚みが増していくと思いき、大変楽しみにしているところでございます。

最後に、吹上ライオンズクラブから図書を寄贈されまして、先日、市長への贈呈式ということでお越しなされたのですが、「31センチの約束」という本を寄贈してくださいました。吹上地域の小中学校と吹上図書館に贈呈されるということです。「ヘッドネーション」というのをご存じですか。

鵜木委員：はい。カツラを作るために髪の毛を伸ばすことですね。

奥教育長：永吉小にそういう子どもさんがいらっしゃったと思うのですが、その本の表紙を見て市長が「ヘッドネーションは大事ですよ。」とすぐ言われました。私もこういう取り組みがあるということを知ったところでございました。

はい、今日は教育長報告と言うよりは、最近知ったことのお話になりましたが、以上で終わりたいと思います。

#### 4 議事

##### 【議案第7号 日置市立上市来中学校の廃止について】

奥教育長：それでは議題に入りたいと思います。今日は一件でございます。議案第7号、日置市立上市来中学校の廃止について、説明をお願いいたします。梅北事務局長。

梅北局長：はい。1ページをお開きください。議案第7号日置市立上市来中学校の廃止についてです。日置市立上市来中学校を廃止し、日置市立東市来中学校と統合する。提案理由につきましては、日置市立上市来中学校を廃止し、日置市立東市来中学校と統合するため、日置市教育委員会の行政組織等に関する規則第10条第4号の規定により提案するものでございます。

2ページをお開きください。これまでの日置市立上市来中学校



統廃合に関する経緯でございます。まず、平成22年11月に日置市立学校在り方検討委員会を平成24年3月までに計6回開催しております。中ほどになりますが、平成25年6月の教育委員会定例会におきまして、日置市立小中学校在り方に関する基本方針（案）を策定しまして、平成26年4月に、この再編計画について可決をしています。その後、アンケートを行うなどしておりますが、右側下から5段目くらいですが、上市来中学校統廃合検討委員会から市教委へ要望書提出ということで、東市来中学校への統合要望をいただいております。また、上市来中学校統廃合推進委員会が設置されまして、令和5年4月1日の統合に向け、廃校に関する式典の話合い等も現在行われています。4ページが今年2月1日に統廃合検討委員会から出された要望書で、下の方に4つの項目についての要望等が挙がっております。5ページが令和3年10月6日付けで上市来中学校統廃合の期日ということで、新たに統廃合に当たって推進委員会が設置されましたので、推進委員会から統廃合の期日について準備をしていただきたいという要望書をいただいております。説明は以上になります。

奥教育長：はい。ありがとうございます。それでは議案第7号につきまして何かご質問等がありましたらお願いいたします。

（特になし）

では議案第7号は、承認していただけますか。

（特になし）

それでは議案第7号は、決定ということでお願いいたします。

#### 【議案 第7号 承認】

#### 5 その他

- (1) 事務局長
- (2) 学校教育課長
- (3) 社会教育課長
- (4) 各支所教育振興課長
  - ア 東市来支所教育振興課長
  - イ 日吉支所教育振興課長
  - ウ 吹上支所教育振興課長

(5) その他

6 閉会

奥教育長：以上で日置市教育委員会11月の定例会を終了いたします。ありがとうございました。

終了

署名委員

内村友治 

署名委員

中島辰矢 